令和２年第３回今金町議会臨時会　第１号

令和２年４月８日（水）

○議事日程

１　会議録署名議員の指名について
２　会期の決定について
３　議案第１号　令和２年度今金町一般会計補正予算（第１号）について

○出席議員（１２名）

議長１２番	村瀬　廣　君	副議長１１番	芳賀芳夫　君
１番	川上絹子　君	２番	向井孝一　君
３番	山崎　仁　君	４番	小川ひとみ　君
５番	日置紳一　君	６番	内ヶ島祐一　君
７番	上村　忠　君	８番	岸　徹也　君
９番	徳田栄邦　君	１０番	村上忠弘　君

○欠席議員（０名）

○出席説明員

町長	外崎秀人　君
副町長	中島光弘　君
総務財政課長	森　朋彦　君
兼選管書記長	
総務財政課長補佐	宮崎吉広　君
まちづくり推進課長	山田　薫　君
まちづくり推進課長補佐	鈴木正之　君

○出席事務局職員

議会事務局長	伊藤靖徳　君
議会事務局主事	五十嵐陽基　君

開議　午前１０時００分

◎開会の宣告

○議長（村瀬　廣君）　おはようございます。

只今の出席議員は１２名で、定足数に達しておりますので、本日をもって招集されました令和２年第３回今金町議会臨時会を開会いたします。

◎開議の宣告

○議長（村瀬　廣君）　これより本日の会議を開きます。

◎日程第１　会議録署名議員の指名

○議長（村瀬　廣君）　日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

本日の署名議員には、向井君、山崎君を指名いたします。

◎日程第２　会期の決定

○議長（村瀬　廣君）　日程第２、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日の１日間といたしたいのでありますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（村瀬　廣君）　ご異議がないので、会期は本日の１日間と決定いたしました。

◎日程第３　議案第１号

○議長（村瀬　廣君）　日程第３、議案第１号を議題といたします。

令和２年今金町一般会計補正予算（第１号）について理事者の説明を求めます。

副町長、中島君。

○副町長（中島光弘君）

おはようございます。議案第１号令和２年今金町一般会計補正予算（第１号）について、提案理由を申し上げます。今回の補正予算につきましては、新型コロナウイルス感染症対策に係る所要の予算を追加補正するもので、規定の歳入歳出予算の総額に２，５３３万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ５７億３，４２５万７千円にしようとするものであります。歳入につきましては１ページをご覧下さい。１７款繰入金で２，５３３万の追加は、基金繰入金で財政調整基金であります。次に歳出の主な内容につきましては２ページです。４款衛生費で１２５万７千円の追加は保健衛生費で、新型コロナウイルス感染症対策費、職員手当で２１万５千円、需用費で７１万３千円、役務費で３２万９千円であります。７款商工費で２，４０７万３千円の追加は商工業振興費で、特別利子補給事業補助金、地域経済応援商品券発行事業補助金が主であります。以上説明を申し上げました。なお、商工費の詳細につきましては、

まちづくり推進課長が説明をいたしますので、ご審議いただき議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。

○まちづくり推進課長（山田　薫君）　（まちづくり推進課長、朗読説明）

○議長（村瀬　廣君）　説明が終わりました。

これより質疑を行います。向井君。

○２番（向井孝一君）　この事業に対しては概ね賛成しておりますけれども、世帯数、防災ラジオの件でも世帯数という事が、多々質疑された経過があるんですけれども、商品券に対して、今、１世帯といいながらも同じ住居の中で２世帯に分かれている家庭が数多くあるんですよ。しかも農家の後継者が町に住みながら農家をやっている人もいるわけですよ。町に住んでいる人は完全に１世帯にカウントされますよね。やはりそういう事を考えた場合に、もう少し踏み込んで１世帯の中で２世帯構成されている事を踏まえないと公平性にかけると思うんですよ。その辺はいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。

○まちづくり推進課長（山田　薫君）　それぞれ住民の皆様の世帯構成は違うという事は私達も認識をしているところですが、私たちは住民基本台帳上の世帯主で判断をしなければ、それで不利益を被る世帯の皆様もいるのかなと思いますので、原則的に言いますと住民基本台帳上で登録されている世帯主の方に私達は送付をさせていただきたいと思っております。

○議長（村瀬　廣君）　向井君。

○２番（向井孝一君）　第１弾はそういう対応をせざるを得ないと私は思います。しかしながら１人暮らしも１世帯です。家族数が多い世帯も１世帯なので、その辺は、やはり第２弾として現場をきちっと調査をしたうえで対応するべきだと思いますけれども、あくまでも最初の段階で終わりにしようとしているのかその辺はいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。

○まちづくり推進課長（山田　薫君）　お答えをいたします。全員協議会でも徳田議員からご質問をいただいて、今後、町として必要な施策はスピード感を持ってとのお話もございました。その後、事務的に作業を進めるにあたりまして、国も今、昨日ですか、概略の発表がありましたし、もちろん国の事業展開も認識しているところですが、町として今後その融資事業、プレミアム商品券事業、次に繋がるものが町として何が良いのかという事は今後、庁舎内全体で考えていかなければならない案件だと思っておりますので、今後そのような案件が生じた場合は、速やかに議会の皆様に、ご相談をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　他にありませんか。徳田君。

○９番（徳田栄邦君）　先日、全員協議会で説明を受けたわけですけれども、この消毒液、マスクを購入するわけですけれども、これの使い道についてどのように考えているのかお尋ねしたいと思います。

それからもう１点。にぎわい今金プレミアム商品券取り扱い事業所について、今の

説明を聞きますと、取りまとめを商工会でやっているということなんですけれども、そうすると、商工会に入っていない事業所がこれに加わる事にちょっと抵抗があるみたいなんですよね。その辺のところを町で行う事業でありますから、もう等しく行政の方でも、希望する商店、あるいわ商売をやっている方、それらについて仲介して取り扱い事業所が多くなるような方策が必要だと思いますけれども、その辺についてはいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　総務財政課長、森君。

○総務財政課長（森　明彦君）　新型コロナウイルス感染症対策費の関係でありますが、今おっしゃっていただきましたように、消耗品として今回提案しております内容につきましては、消毒液それからマスクといったところが主な物になっております。つい先日３月３０日第２回臨時会でも同様の予算を提案し可決を頂きましたが、今回につきましては、それの補充用といいましょうか、そのような意味合いも兼ねております。それから突発的にそういう事態が発生した時のためにも、あらかじめ用意しておかなければいけないというところで、今回予算計上をさせていただいておりますので、お願いいたします。

なお、今回の予算につきましては、消毒液につきましては２０００ℓ分、マスクにつきましては１０，０００枚分です。マスクの状況ですが、基本的に若干ですが、流通も以前に比べたら良い状況になっております。町の方で保有しているマスクを町内の関係事業者に緊急的に配布をするという事で、先般も副町長の方からも報告をさせていただきましたが、少し流通に兆しが見えてきているところがありますので、若干単価は高いんですけれども、そちらの使用状況ですとか今後の在庫状況、取得の要望につきましては、明日関係の事業者を集めて、連絡会議を開いて今後の方向性に持っていきたいと思います。ただ全てを町費で対応するのではなく、必要枚数を取りまとめて発注をするだとか、そういう手立てを考えて、町や関係事業所で使えるような確保に努めておりますのでよろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。

○まちづくり推進課長（山田　薫君）　お答えいたします。昨年度実施したプレミアム商品券は国費の事業で展開をしております。その際も商工会に事業所の取りまとめをお願いしたところでございます。またその際は商工会に加盟している店舗だけではなく、広く事業所にご案内を差し上げたところでございます。なかなか徳田議員がおっしゃったように１歩踏み込めない事業所もおりますので、昨年行った事業では、そういった事業所の希望があれば、商工会に申し込みしづらい場合もあれば、町の方にもという思いもありますし、商工会の皆様にもご理解をいただいて、登録店舗数が１店舗でも増えるように私共も協力をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　徳田君。

○９番（徳田栄邦君）　国はこの新型コロナウイルス対策として全世帯に２枚のマスクを送付するという事で決定したわけでございますけれども、せたな町あたりは、発生

町ですので、国から早めに全世帯に渡っているわけでございます。しかし今金町には、このマスクがいつ届くのか目途も経っていない状況だと思うんですよ。そこで、お年寄りの罹患率が相当高い。もし発生すれば、重度化になりやすい状況がある中ですので、今金町として今回、購入したマスクを事業所に渡すのは結構ですけれども、ひとり暮らし、独居老人、あるいは老人世帯、一番心配しているのは、買いに行っても買えない状況ですから、そういうお年寄りに配布する事を私は考えていくべきだと思うんですよね。病は気からというように、お年寄りは手元に準備しておけば安心して、病に打ち勝つ状況もあるわけですから、自治会あるいは社会福祉協議会辺りにお願いをして、そういうお年寄りに、まずマスクの配布をする。そういうことを考えていただきたいと思いますけれどもいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　副町長、中島君。

○副町長（中島光弘君）　毎回のようにマスクの心配をしていただいて、配布の案をいただいておりますけれども、先ほど総務課長からお話がありましたけれども、明日、事業所に集まっていただきます。今までは事業所の方に在庫数の確認をして、いつまで持つんだろうかという事の中で、一定程度うちの方から供給できるものという事で、３１日に光の里に２００枚、佐々木管理に１００枚、豊寿園の方は当面大丈夫だという事でした。明日、その３者に集まっていただいて、今後のいろんな見通しを確認したいと思っています。それぞれの事業所で福祉系列だとか、いろんなところで確保できるような可能性も聞いておりますので、これオール今金ですので、ある一定程度の枚数を確保できれば、今言われたような、まず弱者の方に配布するような形も検討したいと思っております。先ほど言われた福祉協議会、役場の若い職員だとか、学校の先生だとか、子ども達の分はボランティアに作っていただいて、学校の方に配布を済ませていただいておりますので、マスクに関してはうちで知らない状況もあると思うので、明日色々な情報の確認をして、糸口があって早めに入る場所があれば早急に対応したいと思いますし、逆に内の方も予約はしているのですが、まだ見えないだとか、一定の枚数だと動くだとか相手業者によりますので、その辺もきちっと吟味しながら、本当に手に入るなら、町で一括購入をして、後からもらえばいいわけですから、その辺の事も明日事業者の皆様と相談をして早めに対応ができるよう、国の方を待っていても中々目途が経ちませんので、次の段階に入っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　徳田君。

○９番（徳田栄邦君）　ぜひ早目にですね、お年寄りに対して、先日子ども達には学校で渡してくれたので、非常にありがたく思っている家庭が沢山あるわけですけれども、お年寄りの方はマスクがないから外出ができない、マスクを買いに行っても、買うことが出来ないからどうしたらいいですか、そういう心配事を持っているわけですから、不安を取り除いてやる、その事が大事ですので、早急にそんなに枚数はいらないんですよ。１人２枚あれば良いわけですから。独居老人はそんなにいるわけでないですから。限られた枚数で済むわけですから。是非早急に検討して早目に手を打ってほしい

と思います。

それから、先ほどの事業所の話ですれども、中々商工会に入っていないと行きづらいと思うんですよね。実際小売業者でも沢山入っていない所もありますし、青色等をやってもらっている所は必然的に加入しないといけないから入っているわけですけれども、税務対策をやらなくてもいい個人商店だとかは漏れる恐れがありますのでね。そういうところはきちっと吸い上げていかなければ効果は出てこないと思いますので、是非早目に検討をして、２７日から使えるわけですから、その辺のところをきちっとしてほしいと思いますけれどもいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。

○まちづくり推進課長（山田　薫君）　先ほど答弁が漏れていたのかなと思っております。商工会では加盟をしている事業所に案内を差し上げています。それ以外の事業所については、町が商工会から発出した文章をいただいて、町長名に変えて出す予定をしております。これは昨年実施したプレミアム商品券発行の時と同様の手続きをさせていただいております。今回も同様の手続きをさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　徳田君。

○９番（徳田栄邦君）　次に移ります。先日この事業を進めるにあたり、せたな町と今金町と協議をしてこういう形にしようという事で、決めたという事なんですけれども、中身について開けてみますと、今金は２万５千円の３万２千５百円、せたな町はその３倍近い金額になっているわけですけれども、そこに差が出てきた事についてはどのようにお考えですか。

○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。

○まちづくり推進課長（山田　薫君）　両町で協議をして足並みを揃えて決めた事は、プレミアム率３０％、商品券１枚の販売価格５００円という事です。また人口規模もあります。せたな町は、せたな区、北檜山区、大成区、旧３町の地区エリアがありますし、私たちは１町なので、それだけで規模が違うのかなと思います。他の町を引きあいに出すのもあれですけれども、せたな町は、販売枚数、セット数を限定して、購入を希望される方の、いわゆる早いもの勝ちという形で販売をしますが、今金町は町民全体で、この大打撃を受けている事業所を応援するという目的があって、広く皆様に購入をしていただく事の趣旨で、制度設計をさせていただきましたので、その辺は、せたな町さんとは、比べ物にならない、金額で言えば額にはなっていますが、今金町が今やれる制度設計をさせていただいたという事でご理解をいただきたいと思います。

○議長（村瀬　廣君）　徳田君。

○９番（徳田栄邦君）　今の課長の説明はわからないわけではないです。しかし新聞を見た方、ただ単純に考えると、なんで今金町よりせたな町が多いんだ、そういう当然疑問を持つと思うんですよね。向こうは合併町村で、３つの区があるから、３倍にしたんだ。やっている商店は、その区その区にあるわけで、どこで使うかは、せたな町

内で使うのに、消費するのが３倍になるかといったら、私はそうはならないと思うんですよ。あくまで１町は１町だと思うんですよ。そう考えた時に応援する規模を考えていったら、せたな町は３倍の応援をしているわけですよ。今金町は、もっともっとやる時は思い切ってやって行かなければ、地域の経済は回らないと思うんですよ。先程、同僚議員が言ったけれども、２弾３弾と渡っていけるような、そういうような方策も必要だと思いますけれどもいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　副町長、中島君。

○副町長（中島光弘君）　ご指摘をいただいた部分については、町長からお話をしましたけれども、両町が同じものというよりは、単価が５００円というのと、プレミアム率３０％という事の町長の申し合わせを受けて、それぞれ町の実態に合わせてというのが今回の政策でありました。本町が一番考えたのが、前回のプレミアムにつきましては買えなかった方がいた、それから多くの方が並んだ、それから一部予約したら買えたのかとか色々なご指摘がありました。今回の設計段階の中では、皆様にもれなく当たるという事と、今回は商工業の飲食店が一番打撃を受けておりますので、そこのセット販売をしようという思いの事業であります。予算の規模も違いますけれども、そういう配慮が前提だという事をご理解いただきたいと思います。

それと確かにこれで終わりではないと私も感じております。国の状況が見えませんし、緊急事態の発令もあったという事で、国の施策の部分と、国も急ぐと言っていますけれども、そのしわ寄せが町村にきて、その事務を町村が行う事になりますので、適正さも変えてはいけないですし、その状況を見ながら、全部当たるというわけではない、今回の制度設計になりますので、そういう意味では、そこと比べた中で、町がどういう施策をこうじるべきか町長の判断も必要でありますし、皆様からご意見をいただいて、出来るものは、すばやくやろうという事で、最初の時は連休に間に合わないというお話をさせていただいたら、それは意味ないだろうと。出来る努力をしてくれと。先般も印刷業者と商工会だとかうちの方でも集まりまして、出来る事はうちの方でも汗を流して、なんとか連休前に発行できるよう、お知らせや使えるように。しかも、せたな町と違うのは幅があります。１０月いっぱいまで使用可能だという事で、この連休に感染症が嫌な人もいるかもしれませんので、長期の中で状況を見ながら使っていただきたいという思いでうちの方もやっておりますので、これで終わりという事ではなくて、適宜判断をする際に、その時には議会の方に相談をして、ご意見をいただいた中で次の政策をうてるように、町民一体となってやっていただけるように、行政も進めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　徳田君。

○９番（徳田栄邦君）　これは私だけか分かりませんけれども、説明を受けた時に両町で足並みを揃えてやるというものですから、私個人としてはプレミアム率、それから１枚５００円という事を協議して決めたんだ。その他については、それぞれの町だという説明を受けたわけですけれども、私自身としては両町で同じような形でやるんだなと理解していたわけですから、その辺の所の説明をもう等しくこういうような場合

もあるんだよという事を踏み込んで説明の時にお願いいたします。答弁いりません。
○議長（村瀬　廣君）　他にありませんか。岸君。
○８番（岸　徹也君）　今回様々な対策を打つという事になるんですけれども、私がまず知りたいのは、今金町全体で現時点、この新型コロナウイルスに関係する経済の落ち込み、飲食業を含めて、様々な業種を含めてどの程度落ち込みがあるのか。それを数字としてその辺りを調べているのか。それを調べているから今回の対策に繋がっていると思うんですけれども、そういったものがザックリとでもわかるのであれば、教えていただきたいと思うのですが、いかがですか。
○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。
○まちづくり推進課長（山田　薫君）　商品券を制度設計するにあたり、私ども担当課で全事業所とはいきませんでしたけれども、聞き取り調査で事業所を訪問させていただいた、調査結果がございますので、お知らせをしたいと思います。今回コロナウイルスの関係で影響があると答えた事業所は、２７社を調査したんですけれども、２３社回答がありました。その売り上げ損失額は、おおよそ３，０００万円程で取りまとめております。次に宿泊業でございます。５事業所調査をさせていただきました。影響があるという回答は５社中４社がされて、影響額といたしましては、７６０万円という事でございます。また飲食店１１社調査をしたところ１１社中１１社、１００％影響があるという事で、２月３月の売り上げ損失といたしましては、１，５００万円程度の損失です。事業所全体です。１社あたり平均しますと、１３０万円前後という事になっております。今回、今金町が実施する融資制度があります。特別融資制度ですが、こちらの利用を考えているのか、考えていないのか調査をしました。旅館・ホテル業は１００％の事業所が検討中で、借りたいとの要望があるとの事であります。飲食店は８割が融資制度を考えているとの事で、調査を行ったところでございます。これを基にですね、色々第３弾以降の経済対策のバックデータとしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
○議長（村瀬　廣君）　岸君。
○８番（岸　徹也君）　今紹介いただきました。ありがとうございます。大変な被害があるんだなという事を改めて知ったわけでございます。今回の対策についても今後もその状況を見ながら検討をしていく話ですので、是非今回の対策についても速やかに実施をしていただきたいと。同時に国の方でも、様々な給付というものも出ておるようでございますが、そういったものの事務作業というのは、各地方自治体が行うのだと考えられるわけでございますが、様々なものが重なる可能性があるというところのこのマンパワーの確保というところにおいては、行政側も大変だと思うんですけれども、そこは是非ともしっかりやっていただきたいなと。今朝の道新の道南版ですか、函館市の対応としては電話の問い合わせも含めて、大変苦慮しているんだという記事も出ていたわけでありますけれども、問い合わせも含めて大変だと思いますが、その辺りはしっかりやっていただきたいと。もう１点ですけれども、まさに今、新型コロナウイルスの影響を受けている段階でございますが、今後というのでしょうかね、い

つ収束するのかは、わからない話ではありますけれども、様々な課題というものが教訓にされて、自治体として住民の方に快適に過ごしていただくために、様々な事を検討していかなければならないと思うわけです。特に医療の分野であるだとか、教育の分野だとか。例えば医療分野では、遠隔で先生と自宅に居ながら色々問診ができるだとか。教育は全国的にそういった動きと言うのでしょうか、インターネットを使いながら、プリントも含めて、札幌市の教育委員会ではそういった動きもあるようであります。今後もこれから今回のような件を教訓にしながら、また次こういった有事が起きた場合に、スムーズに子ども達や住んでいる方々に快適に住んでいただく上で、対応をしていかなければならない。様々な課題もあると思うんですよね。その辺の話があれば、今後の話になるので、具体的なものは無いかもしれませんけれども、大きな方向性があれば、お話しを聞きたいと思いますけれどもいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　副町長、中島君。

○副町長（中島光弘君）　まずいろんな対応をしている事は、岸議員もご存じだと思います。今起きている事が、これから全て教訓になっていきます。この間も言いましたけれども、危機管理会議と言いますか、担当会議を含めて７回やっておりまして、他の課の動きが中々見えない事もありますから。全体で共有する事が第一で、担当課で気づかない事が、他の課で気づく事もありますので、その作業を常にやっております。今日も午後から緊急事態宣言が出ると。各自治体で対策本部を作らなければなりません。今日午前中にその通知が全市町村に発出されております。１時半にうちの方も対策本部の設置をする予定でおります。これは平成２６年だったと思いますが、新型インフルエンザの時に全自治体が整備している行動計画のマニュアルに乗っ取っていくわけでありますけれども、これまでと差異はなく感染対策が主でありますけれども、もう一つは住民の皆様に適切な情報だとかお願いを適宜出していくのが１番大事ですので、この後不確かですけれども、例えば七都府県から来られて本町に入って来る皆様、道に入って来る皆様については、知事の見解の中では１週間程の健康を見ていただくという事で、自宅と言いますか、そこの所に待機をしてほしいとの話も聞こえてきております。まだ正式なものはおりてきておりませんけれども、その対応も出てくるように思います。岸議員が色んなところの先進事例を時々紹介していただいて、私共も参考にさせていただいておりますけれども、うちの自治体に合っているもの、合っていないものもありますし、それからこの人口規模で出来るシステムもあります。それから国保病院も今まさしく、訪問診療とか在宅に力を入れたいという事で、副院長中心に動き出しております。この辺も例えば住民の皆様の安心、安全に繋がるような手立てになるような気がしますので、これは全部署で色んなものを常々検証をして。また日本中の担当者が思っております。素直に用意していなかった部分だとか、実際にこれだけマスクが混乱するとか、国もそうでありますが、市町村としても把握をしてない事がありますので、次の世代に向かってはですね、今回の事をきちっと検証をして、たぶん皆様も思っていると思いますが、多分これからまた新手のウイルスが必ず出てくるような社会になっていくのでは。そういう意味では国、自治体、最先端で

いる市町村、ここにいる住民の皆様への対応をですね、今一度これを契機にしっかりとしていきたいと思っていますし、先程話題もありましたが、今回、国からの制度、給付関係の事もおりてきます。多分ですね、住民の皆様は先ほど言ったように、町のものと混乱する可能性がありますし、その文書だけを見ても全部理解をするのは中々難しくて、俺は対象になるのかという、第１段階の問い合わせの電話だとか、そういうものが殺到する可能性があると。今日午前中に町長からも指示をいただいて、午後からの会議で、そちらの対応窓口、どちらかというと相談の窓口だと思いますので、一度は受け取って、きちっと調べて返してあげるような窓口的なものを設置するように、各課で色々な協議をして進めていきたいと思っておりますので、その辺の住民対応もしていくという事で、ご理解をいただければと思います。

○議長（村瀬　廣君）　他にありませんか。山崎君。

○３番（山崎　仁君）　色々ご説明いただきましたけれども４ページ。この商品券発行事業というのは業務内容、実施主体、販売場所が今金町商工会になっていると。この事は、先程の質疑を通して聞いてみれば、商工会のみならず他の業者にも広く該当させたいという事だったんですけれどもいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。

○まちづくり推進課長（山田　薫君）　この事業につきましては、実施主体はあくまでも今金町商工会が実施をする事となっております。年度初めですので、一般の事務作業もやる事が沢山ありますので、今その事務をやっていただくのは負担が大きいという事で、行政としても出来る限り応援をしたいという事で、先程言いました各世帯に商品券引き換え券を送付するですとか、２７日から販売がありますが、２７日２８日の２日間、商工会で特設会場と言いますか販売場所を設けますので、そちらの方に私達も応援に伺う事で調整をしております。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　広く該当して事業所の皆様に活用していただいて、町民の皆様には経済効果に波及できるような動きをしていただきたいのは良くわかるんです。今、商工会が大変忙しい中という事では、この実施主体として今金町商工会、それから、その裏にある６ページ、ここにある事業所は、にぎわい今金プレミアム付き商品券取り扱い事務所として載っている。ところが今回、今金町地域経済応援商品券の発行事業になっているんですよ。だからその所が今回の緊急対策という事を考えれば、私は今金町がメインになって活躍しても良い気がするんですけれども、その辺はいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　まちづくり推進課長、山田君。

○まちづくり推進課長（山田　薫君）　私の資料説明で不備があったのかなと思います。６ページの事業所一覧でございますが、令和元年度に実施したプレミアム商品券を取り扱う事業所でございます。今回、応援商品券に関しては今商工会で会員様に通知を出す準備をしておりますので、これとは多少の増があると思いますので、改めて事業所一覧が出来ますので、ご確認いただければと思います。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　これは先程答弁の中で広くという事から言うと誤解する部分が出て来ると。誤解する事にもあるやにも想像される。広く使って該当されるような事業所の表記を早急に考えて取り扱いをいただきたいと思います。１月に身近にコロナウイルスという話に接するようになり、2 月に北海道で非常事態、昨日は国において宣言をされました。これは世界的な大流行という事では、かつては無いような経験をしているのと同時に、これからまだしていかなければならないという感覚があります。このコロナウイルスに対しては、同時に恐らく２つの事を振興しなければならない。１つはどうすれば感染とか発生を抑えるか。これは幸いの事に今金町においては、罹患者が出ていない。移動される方でも発生が見られていない。これから人の往来が多くなる。当然、農村地帯ですから色々な業者の出入りもある。労働力の確保をしなければならない。色んな人の流れが出てくる中で、どう町として感染を防いでいくか。国も色々な対策をしているし、町としてもしていかなければ、国だけに頼っていたら、大変な事になるような気がする。ですからさっきの備品購入でもマスク、消毒液を町単独で備品として準備をしている。これは当然の事だし、理解はするわけですよ。しかし、これをまだまだ強化していかなければならないという気がする。これどう町として啓発をしていくか。感染予防。手洗い・うがい・消毒、全て言われているけれども、それでもまだ言わなければいけない場面が出てくるかもわからない。ですからそういう事も想定をしながら、これ終わりが見えないし、第２波、３波という話も出ております。ですから町として災害対策本部を設置するという事でありますから、是非その中でそこの部分も協議をいただきたい。それからもう一つは経済対策。落ち込み始めたという表現をさせてもらいます。これはまだまだ落ち込むような気がする。先ほど同僚議員からこれから追加で対策を考えるのかというのはそこだと思う。同時に２つの事を考え、対応していく事は大変な仕事だと思う。通常の業務の他にこれですから。その辺の所をどうお考えなのかお聞きをしたいと思います。

○議長（村瀬　廣君）　副町長、中島君。

○副町長（中島光弘君）　１点目の感染対策をどう住民の皆様に浸透をさせていくかという事でありますけれども、現在もやっておりますが、それぞれの機関の中で、お願いをしている事であります。今回は町長が本部長という事で午後から設置をされますので、本部長となりましたら改めて各事業所にお願いする事項を明確にいたします。それから、もう一つ、住民の皆様にお知らせをしなければならないと思います。今、道からの依頼事項も出てくるかと思っておりますので、道の事を受けながら、今金町の実態にあったものがあれば、実態を含めて、皆様にお知らせをしていきたいと思っております。それから同時進行というお話がありましたけれども、経済対策については、これが収束しない限り、どこかの時点で必ず住民の皆様からも要望が必ず出てくると思っておりますので、この事については間違いなく状況を見ながら必要な時に適宜町長と判断をいただきまして、議会にも相談をした上で、

先程の説明に１点付け加えるとすれば、早めにというお話がありましたので、私共も早めに出来るように、制度設計をして参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　是非、そこの所、職員の皆様大変だと思います。しかし３月の末に商工会から要望のあった中では、商品券発行事業を速やかに企画され、今回、本会議に上程をいただきました。議会としても、これについては、是非行ってくれという意見だというふうに私は思います。それから大変だと思いますけれども、是非、今後ともよろしくお願いしたい。それと同時に、これは、ここまで話しをしてしまってはどうかとも思うのですが、この先、収束が見えない中で１年２年この対応に追われると、町の財政にも大きな影響を受ける気がします。その中では、限られた財源の中で、どう行財政運営をしていくのか。コロナに取られるのものと、又先といったら変な言い方ですけれども、足を引っ張られるような気がする。それが続くと将来の町が予定している事業も大きな影響を受けるような気もするんですよ。公共施設の整備もそうです。それから各種事業にも影響が出てくるような気がする。ですから将来の財政運営に対しても、やはり危惧されるところがあれば、今のうちに絞めるところは絞め。スピーディーな町民への対応を是非お願いしたい。ここの所はいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　町長、外崎君。

○町長（外崎秀人君）　ただ今、ご意見をいただきました。色んなアドバイス、提案も含めて様々な発言をいただいたわけであります。この間それぞれ答弁している、方向性としては、しっかり受け止めていきたい。今、色んな議員からおっしゃっていただきましたように、今行わなければいけない事、やっていかなければいけない事が前提にありまして、議員がおっしゃったように、収束が見えない。この事が収束したからと言って、全てが解決されるわけではありませんので、それがずっと尾を引いて、長いスパンの中で改善を図っていかなければならない。第２弾、第３弾どういう事が必要かという事をしっかりと吟味していかなければと思っております。加えて何よりも最優先しなければならないのは拡散防止であります。今金町は一定の考えを示しているわけですけれども、示している中におきましても、ある程度、不要、不急を含めた外出はしてはいけないと。この事については、きちっとお願いをしないといけないと思います。そんなにきつく締め付ける事にはなっていかないと。現況の状況を見据えながら対応すると。そのためには、一人一人の町民の方々の気持ちを大事にしていかないといけない。意識付けのお願いを申し上げていかなければいけないと思っておりました。マスクの問題についても、出来る事なら自分達で努力をするだとか。明日、昼からも行います関係団体、医療、福祉関係の方々にお集まりいただいて、町で在庫してあるマスク、それに依存をする事なく、それぞれの団体、組織で従前通りの努力をしてもらいたい。今金町でストックをしているものは、緊急時の対応だという事を認識していただきたい。町にお願いをすれば、なんとか手配してくれる。そういう事ではなくて、それぞれの立場の中できちっと対策対応を取っていただきましょう。そ

のためには先程、副町長が言ったように、マスク１つにしても、町が窓口となって、それぞれ購入できるような状況になるとすれば、一括購入をし、それぞれのところに分散をして、負担してもらうような方法もあるし、色々な知恵を使いながら、対策対応を取っていきませんかと。行政も当然限度もあるわけでありますし、議員もおっしゃたように様々な事業、行政運営にも影響もあるわけであります。すでに指示をしておりますけれども今年度行う予定であります、事業、行事等々精査をさせていただいているわけであります。全ての様々な会議におきましても、この対策の言葉を発していこうという話をしておりますし、今後行われる事業についても、関連付けながら、様々な対応、対策、改善を含めた事を考え併せながら、連携体制を取るような、事務事業の運営が必要ではないかなと。従前は目的を単発、単発で行ってきましたけれども、コロナだけという対応、対策は非常に難しい状況にあるとするならば、行政全体の動き、改善対応に向けた意識付けを持ちながら進めて行くと。先ほど副町長申しましたように、今回は、きちっと町民に改めて北海道が指定されてないといながらも、大変な状態でありますよと広報をしなければいけない。その事については、それぞれの団体に協力のお願いをしなければならないわけでありますから、その辺のところの啓発をしていく事は重要ではないかと思っております。財政の事を言われると当然厳しいわけでありますが、だからこそ、しっかりとした制度構築をしながらご理解いただけるような対策を。それこそ財政出動支援が必要ならば、議会共々と協議をしながら決断しなければならない。その応援商品券についても、町民皆で応援して下さいという事が大事です。ある自治体では商品券をそのまま配布している。１セットで配布をしている。それは応援ではない。消費者応援という事ではなくて、とても困っている業態がある、そこを皆で応援しようという事で、金額の問題でなくて全戸が購入できる形で、皆で応援するという気持ちを合わせるためにこのスタンスを取らせていただきました。次に第２弾、第３弾と当然あり得る事。商品券等々含めて考えると、長引く情勢を考えたり、先ほど申しましたように、いつまで続くのかという不安要素があるとすれば、年度の中でも１０月末まで引っ張っております。お祭りの時期も含めて。年末年始も当然考えていかなければならない。発信も場内の中でやっておりますし、職員もそれぞれの立場で、様々な知恵を使いながら情報を集めながら対応、対策を取って参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）他にありませんか。

質疑を終わります。

質疑を打ち切り、討論を行います。

討論を終わります。

討論を打ち切り、日程第３、議案第１号についての採決を行います。本案は原案の通り決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（村瀬　廣君）　ご異議が無いので議案第１号は原案の通り可決いたしました。

◎閉会の宣告

○議長（村瀬　廣君）　以上をもって日程の全部を議了いたしました。

これをもって令和２年第３回今金町議会臨時会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会　１０時５７分